

肺がん



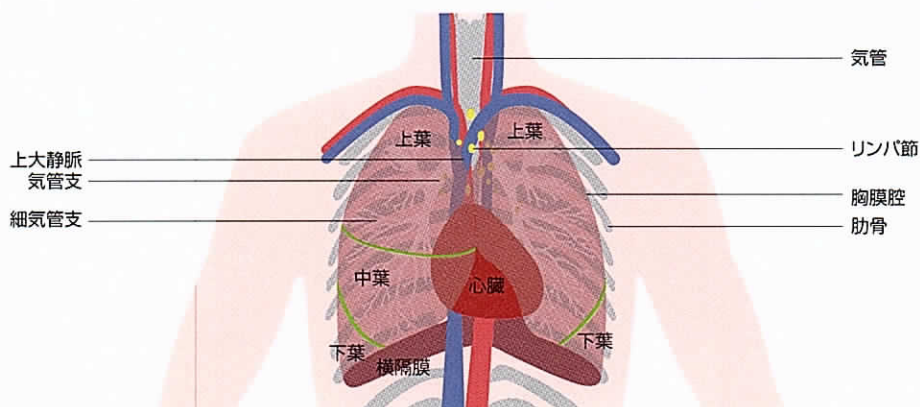
大手町いまながクリニック
院長 今永 知俊 先生

・呼吸器専門医
・総合内科専門医

北九州市小倉北区大手町13-34
ハローパーク大手町203
☎ 093 (562) 2580

肺について

肺は胸の大部分を占める臓器で、左右に1つずつあります。右肺と左肺の間には縦隔と呼ばれるスペースがあり、そこには心臓や気管、食道などがあります。肺は呼吸によって体内に酸素を取り込み、二酸化炭素を排出する役割をしています。吸った空気は口や鼻から咽頭、喉頭を経て気管を通り、気管支と呼ばれる左右の管に分かれ肺に入ります。気管支は肺の中で細気管支と呼ばれるより細かい管に分かれ、木の枝のように肺内に広がり、最終的には肺胞につながって、そこで酸素が血液にとり入れられ、二酸化炭素が排出されます。



肺の構造

肺がんとは

肺がんは肺の気管、気管支、肺胞の一部の細胞ががん化したものです。肺がんは進行によって周りの組織を破壊しながら増殖し、血液やリンパの流れに乗って他臓器へ転移します。肺がんは喫煙との関係が非常に深いがんですが、煙草を吸わないからといって発症しないということはありません。近年、肺がんは日本人のがんによる死亡原因のトップとなりましたが、まだ増加する傾向にあります。

